# ２０２１年度第２回理事会議事録

1.　　日時：２０２１年7月１０日（土）　１３：００～
2.　　場所：オンライン会議（Zoom）
3.　　出席者（テレビ会議による出席）：

理事：総数27名中

松丸喜一郎会長　田村恒彦副会長　袴田登喜造副会長兼専務理事
横山幸子副会長　永谷喜一郎常務理事　大野明敏常務理事
三木容子常務理事　平井宏治常務理事　佐橋朋木常務理事
近藤正晃ジェームス常務理事　小風明常務理事　源洋子理事
松島愛理事　上之園正一理事　酒寄貴瀬理事　穂苅美奈子理事
寺澤良悦理事　横沢聡理事　尾﨑和郎理事　髙橋信吾理事
仲本渚理事　五十嵐治人理事　田中辰美理事

以上出席：総数23名

監事：総数２名中　岸髙清　以上出席１名

4.　　議事録署名人：松丸会長、田村副会長、袴田副会長兼専務理事、横山副会長、岸髙監事
5.　　袴田専務理事が13時00分に理事23名出席で成立するとの宣言をした。
6.　　議長：代表理事　松丸喜一郎

松丸会長が、オンライン会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明ができる状態となっていることが確認されて議案の審議に入った。

会長挨拶

射撃競技の無観客がきまった。オリンピズムは、あらゆる国、人種、宗教など関係なく競技を通して交流して平和に貢献することであり、オリンピックはその手段である。現在の世界は、パンデミックとは別の意味での分断と格差があり、いまこそ選手、国民の安全を確保しつつ無観客であっても開催する意義がある。協会をあげて、選手たちが力を発揮できる環境をつくる運営をしていく。新しい体制になって初めての理事会であり、この２年間で社会も協会も大きくかわる前提で議論をしていただきたい。

＜審議事項＞

1.　各本部委員会方針と編成

各委員長より、画面共有資料に基づいて案が説明された。

- 横山総務委員長より、総務委員会の方針と編成が説明された。

田村副会長より、2 年前に提起された女性専門部会は設置しないのか、との質問があった。

三木常務理事より、部会でなくとも方針にいれてはどうか、との意見があった。

横山委員長より、ジェンダーというくくりにすれば、より広く取り組める、との意見があった。

松丸会長より、女性という枠にとどめず EDI(Equality, Diversity, Inclusion = 平等、多様、包含）という概念がもとめられており、部会にするか方針に入れるかは執行部に一任いただきたいとの意見が松丸会長よりあった。

永谷常務理事より、今の世の中は全ての趣向を考え、ノンバイナリー（二元論ではない）という考え方があるように、なるべく規定をしないようにしていくことが必要であり、各議論があった上での松丸会長の方針に一任したい、との意見があった。
岸髙監事より、規程に「女性の活躍促進に関する業務」というものがあるので、女性活躍以外もあつかうのであれば、あわせて更新していただきたい、との意見があった。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。

- 大野推薦委員長より、推薦委員会の方針と編成が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- 平井国体委員長より、国体委員会の方針と編成が説明された。
松丸会長より、JSPO には国民のための大会にしたいという危機感があり、そのためにはグローバルスタンダードのオリンピックにあわせ、名実ともに国内最高峰の大会にしていきたい、との意見があった。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- 松丸選手強化本部長より、選手強化本部の方針と編成が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- 田村選手強化委員長より、選手強化委員会の方針と編成が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- 三木ジュニア育成委員長より、ジュニア育成委員会の方針と編成が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- 佐橋競技運営委員長より、競技運営委員会の方針と編成が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- 永谷普及生涯スポーツ委員長より、普及生涯スポーツ委員会の方針と編成が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- 近藤マーケティング委員長より、マーケティング委員会の方針と編成が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。

2. 2021 年度参事の就任、退任
袴田専務理事より、画面共有資料に基づいて案が説明され、各委員長に確認した。
推薦委員会の数字が５名である、との資料訂正があった。
競技運営委員会の数字が４名である、との資料訂正があった。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
3. 公認審判員の公認
佐橋競技運営委員長より、資料２に基づいて案が説明された。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。
4. 射撃場の公認
佐橋競技運営委員長より、資料３に基づいて案が説明された。
資料には２射撃場ともに、電子標的から紙標的へ訂正があった。
議長が諮ったところ、異議なく承認された。

＜報告事項＞

- 委員会報告：
1. 総務委員会
特になし。
2. 推薦委員会報告
審査結果報告
大野委員長より、資料４に基づいて説明がなされ、６月の「４．技能講習免除に関する推薦」の受付数が３１、不承認が１との訂正があった。
3. 国体委員会報告
三重国体について
・中央派遣役員変更
平井委員長より、射場長（１０m）に予定されていた上野さんが監督になる必要があり、別の方決まり次第割り当てる、との報告があった。
・50m10m25m種目会場無観客
平井委員長より、50m10m25m種目会場無観客になり、観客と選手を分離できるビーム競技のみ有観客となった、との説明があった。
・栃木リハーサル大会中央派遣役員変更
平井委員長より、説明があった。
・BR ミックスソフト仕様と見積
平井委員長より、見積もりの説明があった。
藤井彌事務局長より、活用できる助成金がないかスポーツ庁に問い合わせたが、現時点ではなかったが、引き続き探していく、との説明があった。
松丸会長より、総務委員会にも諮っていく、また ISSF ルール変更への対応も勘案していく、との説明があった。
4. 2020 東京オリパラ準備運営本部報告
袴田本部長より、NTO 情報について説明があった。
組織委員会より、通いでの参加が要請されたが、公共交通機関を使わない体育学校所属の NTO のみ通いの対象とした。
5. 選手強化委員会報告
東京 2020 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ選手及び専任ｺｰﾁ報奨金の税率について
田村委員長より、資料７に基づいて説明があった。
選手団情報
田村委員長より、オリンピック会場は練習射座、時間が少ないため、ギリギリまで NTC にてトレーニングを行う。ライフル選手については、自衛隊体育学校の協力を得て、体育学校射撃場で練習するとの説明があった。
6. ジュニア育成委員会報告
三木委員長より、夏休みにおけるハブなどの開催については現時点では困難、との説明があった。
7. 競技運営委員会報告
ワンタイムオンリー検査員養成講座実施報告
佐橋委員長より、資料８に基づいて説明があった。
競技運営委員会成績報告用種目コードの変更
佐橋委員長より、資料９に基づいて説明があった。
競技会実施報告書提出方法の変更
佐橋委員長より、資料１０に基づいて説明があった。
松丸会長より、８月の全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会の扱いをどうするのか、との質問があった。
佐橋委員長より、現時点では集合になっており、高校部会としては学校から派遣できる G２として扱って欲しいとの要望があるのではないか、との説明があった。

松丸会長より、県跨ぎの自粛を求められている中で集合開催とするのは協会としては難しく、執行部および競技運営委員会と早急に対応を検討したい、との発言があった。

8. 普及・生涯スポーツ委員会

特になし

- 会務報告

オリンピック期間中の事務局体制

藤井彌事務局長より、オリンピック期間中で試合が行われる日は事務局に職員が出勤している、との説明があった。

オリンピックチケット配分情報

藤井彌事務局長より、首都圏の無観客試合決定をうけ、チケット配布は中止となったが、詳細はまだチケット事務局からきておらず、分かり次第必要な告知をする、との説明があった。

１５時００議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記名押印する。

２０２１年7月１０日

議事録署名人
公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事　松　丸　喜一郎　松丸喜一郎　印

代表理事　田　村　恒　彦　田村恒彦　印

代表理事　袴　田　登喜造　袴田登喜造　印

代表理事　横　山　幸　子　横山幸子　印

監事　岸　髙　清　岸髙清　印

以上